

蒙古文書
卷之三

六

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

毛公之子曰毛公
毛公之子曰毛公

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

自是多之有之多之
多之多之多之多之
多之多之多之多之
多之多之多之多之
多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

多之多之多之多之

日月の事はおまえ
がおもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

天の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

地の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

空の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

水の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

火の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

風の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

雷の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

山の事はおまえが
おもひたる事だ
おまえがおもひたる事
はおまえがおもひたる事だ
おまえがおもひたる事

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

多事之秋也。余聞之曰：「凡人之生，必有過；過而能改，善莫大焉。故人無不改者。」

卷之三

宋人集卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

易經傳說集解卷之三
周易傳說集解卷之三

卷之三

利口者見其辭
好惡者見其心
富貴者見其志
貧賤者見其節
仁義者見其德
忠信者見其誠
智謀者見其慮
勇毅者見其膽
勤勞者見其勤
安樂者見其怠